

言語文化学科		准教授	堀川 宏	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	古典ギリシャ語の初学者向け講義	2012年～現在	難解なことで知られる古典ギリシャ語の基本文法を、初学者向けに効果的に教授する方法を工夫している。語源の話題や格言・思想などの説明を織り込むことで古代ギリシャ文化への関心を広く育みつつ、ギリシャ語を動かす仕組みの核心部分のみを抽出して学習することにより、学生がギリシャ語文献への扉を開くことができるように努めている。	
2	古典ギリシャ語の原文講読	2016年～現在	初級文法の学習を終えた学生を対象に、古典ギリシャ語の原文講読の手ほどきをしている。辞書などの道具の使い方に慣れることから始めて、最終的には学生が自身の関心に応じて文献を読んでゆけるようになることを目標としている。	
3	ギリシャ・ラテン文学の概論的講義	2016年～現在	ヨーロッパ文化の母体であるギリシャ・ラテン文学について初学者向けに講義をする際、その文化的意義を解説するだけでなく、学生が実際に作品を手にとり読むことを促すように努めている。また、学生のそれぞれが学習対象について自分なりの見方を持ち、それとの比較によって自身の直面する問題を考えることができるようになることも重視している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『古代ギリシャ語語彙集 基本語から歴史／文学／哲学／新約聖書まで』	2016年3月	日本における古代ギリシャ語の学習環境整備のために、ドイツで出版された定評ある語彙集(Th. Meyer und H. Steintal, <i>Grund- und Aufbauwortschatz Griechisch</i> , Leipzig, 1993)を、勝又泰洋、太田和則、隠岐-須賀麻衣とともに翻訳し、山口義久監訳、斎藤憲編集で大阪公立大学共同出版会から出版した。	
2				
3				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1				
2				
3				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				
2				
3				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
2010年～現在		古典文献学研究会 会員		
2012年～現在		日本西洋古典学会 会員		

言語文化学科	准教授	堀川 宏	大学院の授業担当 無
その他			